

Topics

安心して暮らせる町を目指して

12月5日、鬼北町役場応接室で「地域における協力に関する協定書」の調印式が行われました。

今回の協定は、住民が安心して暮らせる地域社会づくりのため、鬼北町内の6郵便局と宇和島郵便局が、鬼北町の住民等の何らかの異変に気付いた場合、また、道路の異状や不法投棄が疑われる廃棄物等を発見した場合に、鬼北町に対して情報提供を行うというものです。

甲岡秀文鬼北町長は「郵便局は地域を熟知した機関。とても心強い」と話し、芝邦予広見郵便局長は「町と連携し、地域住民の皆さんに貢献していきたい」と、意気込んでいました。



▲(前列左から)甲岡秀文鬼北町長、芝邦予広見郵便局長、(後列左から)芝田正文副町長、宇根岡峰博宇和島郵便局長、浦瀬孝之下大野郵便局長、池田隆日吉郵便局長

Topics

思いやりの心で、心豊かに



▲代表でボランティア表彰を授与される「中野川婦人会」

「第13回鬼北町社会福祉大会」は11月20日、広見体育センターで行われました。

式典では、長年にわたり地域の社会福祉活動に貢献した方や、献身的に家族の介護に努められた方に対する表彰、そして結婚60年以上のダイヤモンド婚を迎えられたご夫婦へのお祝い状の贈呈式が行われました。

また、式典後には清吟堂吟友会による詩吟と演舞、そして「優しさの心って何?～朝顔やつるべとられてもらい水～」と題して、萩金谷天満宮宮司・元萩市教育長の陽信孝氏による講演会を実施。陽氏は、若年性アルツハイマーにおかされた妻の八重子さんと過ごした12年間の日々から学んだこと、そして「生きること」について、来場者に語りかけていました。

Topics

秋空の下で、鬼北のグルメを堪能

11月23日、道の駅日吉夢産地で、鬼北の里グリーンツーリズム推進協議会が中心となり「鬼北の里G Tフェア」が開催されました。

この日は、きじ飯おにぎり、武左衛門汁や豚汁の無料配布を実施。鬼のモニュメント「柚鬼媛」が誕生したこともあり、会場は多くの人で賑わい、それらはあっという間になくなりました。

また、きじ飯おにぎり配布の際、「どこから来られたのか」というアンケートを実施したところ、約86%の人が町外からという、「柚鬼媛」効果を感じられる結果となりました。



▲鬼北グルメを堪能する来場者たち

Topics

五感で楽しむ三島の秋

11月27日、三島小学校体育館およびグラウンドで、「三島農民祭・総合文化祭」が行われました。

会場では、今年で3年目を迎えた大好評の軽トラ朝市や、新設されたCafeコーナーなど、趣向を凝らした催しが行われ、訪れた人々を楽しませていました。

また、午後からは三島小学校体育館のステージ上で、地域の人々によるカラオケ、引き語りや健康体操などが行われ、出演者たちの熱演の数々が会場を盛り上げました。



▲軽トラ朝市を楽しむ来場者たち